和教時報

2022年１月15日（土）発行　第1981号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

あけましておめでとうございます

2022年 本年もよろしくおねがいいたします

つかむ

生まれたばかりの君の小さな手が、
私の指をつかむ。
みずからの存在感を示すかのように、
しっかりと力強く。

これから君は、
その手で何をつかむのだろうか。
そのときは平和な世であってほしい。
いさかいや競争のない自由な世界で、
自分の夢をつかんでほしい

今年はどんな年に？

新年が始まりました。
今回も干支が『寅』の方々に今年の抱負を語っていただきました。

つながりをもっと大切に

有田支部
田栖川小分会
金森　千穂実

私は寅年生まれで今年は年女となります。一二年の周期のおめでたい年に、私は、人とのつながりを大切にする年にしたいと考えています。

一二年前の寅年の時、私は小学校六年生でした。その時お世話になった担任の先生は、校長先生になっていて、学校にかかってきた電話を私が受けたとき、「元気～？」と声をかけてくださったり、当時学校事務職員だった先生にも出前授業の時に再会できたり、私のことを覚えてくださっているんだととてもびっくりしたし、同時にとってもうれしくなりました。また、小学校の時の同級生が役場に勤めていて、イベントごとでお世話になったり…。一二年前の出会いが、今につながっているんだと感動しました。

職場で「教え子と再会して、がんばっている姿が嬉しかった」などという話を、「へえーそうなんだ」と思いながら聞いていた私ですが、実際自分にもそのような経験が訪れると、こんなにもうれしいことなんだなと思うのと、同時に人と人とのつながりってとても奥深いものだということを感じさせられました。

だから、今年は人とつながることの素晴らしさを互いに共有することを目標に、いろんな人と関わっていきたいです。数年後、再びつながったときの感動を伝えられたら幸いです。

我が子の成長を楽しみつつ…

和歌山市支部
有功東小分会
神崎　和広

昨年を振り返ると、長男が小学校に入学し、九月からは、妻が復職しました。それと同時に、長女と次男の送り迎え（こども園は別々）がスタートしました。

時間きっかりになると、学校を飛び出し息子達を迎える生活となりました。

送り迎えは本当に大変です。ですが、送り迎えが嫌だというわけではありません。今までの働き方がよかったというわけでもありません。ただ、ワークライフバランスが大きく変わった一年でした。

すごくホワイトな働き方になったということについては、大きな前進です。

本来、このような働き方が正しいはずなのに、多忙が進むことで、少しずつ正しいはずの考えがねじ曲がってきていたようにも感じる今日この頃です。

限られた人生。家族との時間、仕事の時間のバランスを改めて考えるきっかけとなった年男の抱負。

今しかない我が子の成長を楽しみつつ、目標に向かって、虎視眈々と自分の実践を追求できればと思います。

みなさんにとって、ステキな一年でありますように。

「年男かぁ～」と思うと同時に、あっという間に三六歳だ！…と時間の過ぎる早さの驚きの方が大きいなぁと感じています。

コーヒーは心の癒やし

那賀支部
打田中仙渓分校分会　木野　卓也

今年で、四十八歳になります。野球選手のイチロー選手と同年代です。彼の白髪は、年齢を感じさせるようになりましたが、肉体的には、まだまだ衰えを感じさせません。自分の外見も徐々に老いを感じ始めました。せめて、精神的には元気でありたいと思い、心にゆとりを持つよう努めています。

コロナ禍で、自宅で過ごすことが多くなり、珈琲のおいしさに目覚めました。挽き立ての豊かに香る豆をハンドドリップで抽出すると、すっきりかつ、まろやかな苦みを楽しむことができます。自分好みの淹れたてのコーヒーを味わうひとときは格別で、気持ちをリラックスさせ心を癒やしてくれます。お気に入りの器具は、カリタの電動コーヒーミルCM―50、新潟県燕市珈琲考具のドリップポットTTEKI、ハリオのドリッパーV60、信楽の山上陶器で購入したカップです。

さて、今年の目標は、抽出の味を安定させ、同僚に提供することで、職場に笑顔と心のゆとりを拡げようと思っています。そのために、コーヒーソムリエに挑戦しようと考えています。そして、「大賢虎変」をモットーに、子どもの心に寄り添いながら、成長と発達をサポートできるよう奮闘していきたいです。

東牟婁支部　教育を考える懇談会

「性の多様性とこれからのジェンダー教育」

約一一人に一人はLGBTQだといわれ、学校や社会で生きづらさに悩んでいる人が多くいる今、性の多様性とこれからのジェンダー教育はどうあるべきなのか、トランスジェンダー当事者の丸山都さんのお話しを聞き、参加者二〇名みんなで考え合いました。丸山氏は、幼少期からずっと自身の性に悩み、成人してから世界をめぐり、各国の文化や世界の人々と考えや価値観を交流する中で、自身のアイデンティティーを確立、「自分らしく」生きていくことを決意し、これまで〝性〟に悩み苦しんできた過去をカミングアウトした自身の体験を語りつつ、学校や社会に求められていることなど、分かりやすく語ってくれました。懇談会終了後、学校（子ども・職員）への講演依頼が次々と。

チャレンジに「遅すぎる」はない!!

和歌山市支部
和歌山さくら支援分会　宮下　典子

五年前に夫の影響を受け、普通自動二輪の免許を取るために自動車学校に通いました。若い教官から「チャレンジが少し遅すぎましたね」と言われ落ち込んだものの、他の教官からの励ましのおかげで何とか免許を取得できました。

休日にツーリングに出かけましたが、何度か立ちコケをし、緊張と疲労でツーリングを楽しむところまではいきませんでした。このままでは楽しくないと思い、『安全にバイクに乗るための講習会』に参加しました。バイクの運転に関する理論とクラッチとブレーキの基本の技術を教わりました。大切なことを繰り返し、徹底的に教えてくださいました。

二回にわたり通い、ようやく安心して停止できるようになった実感が持てるようになってきました。スクールの校長先生からはうまくできた時にはほめてもらい、講習会の最後に「進化を楽しんでください」の言葉をいただきました。おかげで、運転がもっとうまくなりたいと思えるようになりました。

自分が生徒という立場になり、先生の言葉かけでやる気になったり、落ち込んだりする経験を通して、あらためて子どもたちへの言葉かけの大切さを考えさせられました。

二〇二二年は平和な世の中であることと健康で楽しい生活が送れることを願っています。

やっぱりリフレッシュはいいね～

退職まで頑張ろう!!

海草支部「永年勤続激励会」

一二月一一日（土）に海草支部で「永年勤続激励会」を一〇時半から開催しました。退職まで頑張ってきた人たちに、退職後の生活について様々なことをお話しいただきました。退職金の計算の仕方や保険のことで分かりやすく説明があり、退職後の生活を充実して過ごせるように必要な手続きなどを教えてもらいました。学習会の後に参加者からの質問にも答えてもらい、参加者のみんなは大満足でした。

例年なら、この学習会の後に交流のための食事会を開いていましたが、状況が状況なので参加者のみなさんに豪華弁当を渡し、少しでも優雅な昼食を過ごしてもらいました。来年はまた食事会を復活できたらいいですね。

集まって励まし合う姿が組合だ

和歌山市支部「リフレッシュミニ集会」

一二月二日（木）に和歌山市教育会館でリフレッシュミニ集会を開催しました。参加者は、五〇代教職員、退職されて再任用や非常勤で働いている人などです。退職金や年金ガイダンスを野口副委員長から行ってもらったあと、参加者から一言を話してもらいました。年金受給年齢が引き上げられたことや家庭の事情でまだまだ仕事を続けているという話、定年後に向けて資格を取っているという話などがありました。参加者からは、色々な頑張っている人たちの話を聞いて元気が出たことや、こうして集まって励まし合う姿が組合だという感想も語られました。

シクラメンの鉢植え

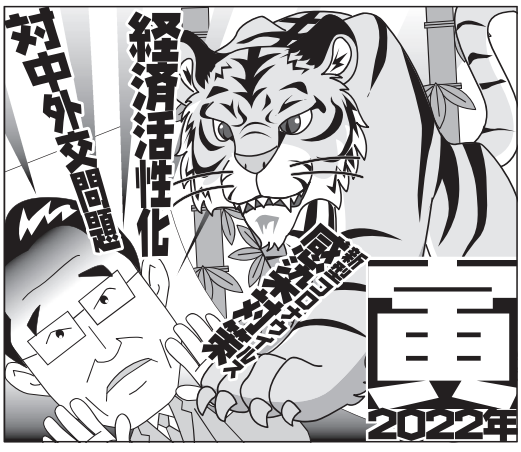
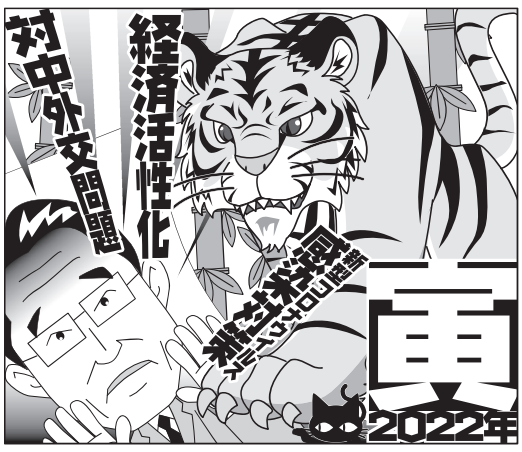
おみやげは、毎年恒例のシクラメンの鉢植えです。このシクラメンを楽しみにしてくれている人も多いです。

生協ギフトカードが当たる!

まちがいさがし

2つの絵で違っているのはどこかな?

7カ所あります

応募方法

- 右の絵をコピーしてハガキに貼り、相違する箇所に赤で丸印を記入してお送り下さい。氏名・分会名も必ずお書き下さい。
- メ切
  1月31日(消印有効)
- 応募先
  〒640-8269
  和歌山市小松原通3-20
  和教組情宣部
- 正解者の中から抽選で10人の方に学校生協ギフトカードを贈ります。発表は、和教時報2月15日号にて